

ベストセラー作家

『プロの代筆屋』による

夢を叶える

中島泰成 著

魔法の7ステップ

大好きな書く仕事で自由に生きる代筆屋の物語。

ある秘密の言葉を知ったとき、あなたの夢も叶い始める。

夢のある人や
夢のない人にも
読んでほしい。



夢を叶える魔法の7ステップ

ステップ1

「今の人生はあなたが思った通りになっている」

27歳無職の男は本屋の前に立っていました。

薄っぺらな安物のテーラードジャケットに

皺だらけのジーンズを履いた男は、

「なぜ、こんなことになったんだろう？」

そうつぶやいてから、握り締めた携帯電話の画面を

再び覗き込みました。

0142

0169

0199

• • •

画面に映る不規則な4ケタの数字の羅列。

無駄だと分かっているても、

男は受験番号0178を探しました。

更新ボタンを何度もクリックしました。

しかし、映し出される現実は何一つ変わりません。

男は、中卒程度の学力しかないにもかかわらず、

一日10時間を超える猛勉強を6年間続けました。

暑い日も、寒い日も、雨の日も、晴れの日も、

20代前半という遊びたい盛りの年代の大半を、

実家の一室にある机の前に座る日々をくり返したのです。

座り過ぎて足の骨格が変形し、血便が出るまで勉強を続けました。

努力を続けた男への見返りは、

6年連続で司法書士試験に落ちた27歳の無職の男でした。

不合格という烙印を背中に押され続けた男は、

ほとんど意識のないまま、地元の本屋に入っていました。

今ある現実には、この世に生まれてから

今この瞬間までにあなたが想像したすべてです。

いい結果も、悪い結果も、すべてはあなたが引き寄せています。

これは絶対の法則なので、まず初めに理解してください。

「じゃあ何か？この男は不合格という結果を願っていたけど！？
そんなわけないだろうっ！」

そうです、男は猛勉強をしていたにもかかわらず、

無意識のうちに不合格を引き寄せていました。

「たとえば交通事故や事件に遭った人は、事故や事件を願っていたとでもいうのか！」

と反論されるかもしれません。

事故や事件に遭いたい人は、おそらくいないでしょう。

しかし、「交通事故に遭ったらどうしよう」

「殺人事件に遭ったらどうしよう」

と不安を願ったこと、一度はありますよね。

「交通事故に遭ったらどうしよう」

「殺人事件に遭ったらどうしよう」

「どうしよう、どうしよう、どうしよう」

と未来への不安を願えば願うほど、不安は増大され、

願った未来である事故や事件を引き寄せます。

「ということは、お金がなくなったらどうしよう」

と願えば現実にお金がなくなるんですか？」

そうです、その通り、お金がない現実を引き寄せます。

引き寄せの法則は唯一絶対の法則です。

疑おうと、否定しようとして、避けたところで、

すべてを引き寄せます。

努力しない墮落した毎日も、

たとえ努力しても結果の出ない毎日も、

すべてを引き寄せるのです。

たぶん、あなたはすごく頑張ってきたはず

たぶん、あなたは真面目に愚直に生きてはず

そして、こう思っていないませんか？

なぜ、わたしはもつと評価されないのか

なぜ、わたしは結果がでないのか

なぜ、わたしは成功とは程遠い場所にいるのか

なぜ、

なぜ、

なぜ、

• • •

努力すれば結果が出る。

というのは幻想です。

頑張りさえすればなんとかなる。

というのも同じく幻想です。

努力や気合だけで願望を達成しようというのは、

宝くじで10億円当てようとしている人と同じ思考です。

1000万分の1にも満たないわずかな可能性にかけて、

宝くじを買い続けたところで、

生きてるうちにお金を手にする確率はほとんどゼロです。

また、豊かで自由な人生を手に入れた人、

富も健康も手に入れた成功した人の多くは

努力しただけではなく、頑張っただけでもありません。

そもそも好きだからやってることを努力とは思っていません。

ちなみに冒頭に書いた男とは、

この文章を書いている僕自身のことです。

現在の僕は生きていくだけの富も

自由な仕事も、最高のパートナーも、可愛すぎる息子と娘も、家も車も、

必要なほとんどすべてを手に入れました。

多くの財産がある大富豪ではありません。

しかし、ケニアのサファリを楽しみ、

モルデイブの美しい海に浮かび、

豪華客船の中からエジプトのピラミッドを眺めることもできました。

少し前まで、家族みんなで南の島へ半年間移住していました。

雲一つない青い空と美しい海、

ブコの葉が風に揺られると

砂浜に打ち寄せる波のような音がしました。

私は自然の音楽に浸りながら、ずっと小説を書いていました。

おそらく世間一般の人がやりたくてもやれないことを

ほとんど経験しています。

成功していると胸を張って言えるでしょう。

（成功の定義は人それぞれですが、ここではあえて議論しません）
おそらくこれを読んでいる多くの読者さんよりは

自由な人生を生きていると言えるでしょう。

「働くのは苦勞する、お金を稼ぐのは大變」

「労働時間を多くすれば、収入が増える」

と思ひ込んでいませんか？

たしかに時間給で考えれば、

8時間より10時間働いたほうが受け取る収入は増える。

間違いではないです。

しかし、二度と帰ってこない貴重な時間を犠牲にした割には、
受取る収入は数千円の違いしかありません。

僕が働くのは1日1、2時間程度です。

週に10時間も働けばよく働いたほうです。

1カ月で約40時間ほど。

でも、多くの世間一般の人々は1日8〜10時間労働し、

週に一日休むとして1週間に50時間は働いている計算です。

1カ月で約200時間以上働くわけですね。

さらに残業時間が数時間加わりますから、

実際には月の労働時間は250時間を超えるかもしれませんが。

僕の労働時間だけでいうと、

一般の方の6分の1も働いていない計算になります。

多くの人より圧倒的に労働時間が短いにも関わらず、

平均的なサラリーマンよりはるかに多い収入を得ているのはなぜ

でしょうか。

これは自慢でもなんでもなく、

絶対に耳を塞いではいけない、とても重要な現実なんです。

「ふざけんなよっ！私は月に250時間も働いてるのに、お前はその6分の1だと！？読む気がしない！！」

と衝動的にここで読むのをやめた人は

この先も、今までと同じ人生を歩むことになるでしょう。

断言してもいいですが、人生は変わりません。

人生を変えるには、

あなたにとって信じられないような、

受け入れ難い事実を受け入れることです。

変化を受け入れる器がないということは、

この先の人生も、

現在とほとんど変わらないか、

さらに悪化した未来を確実に引き寄せるだけです。

どんな物語であつてもあなたの前に現れたことに意味があります。

こんな物語はくだらない。

と捉えるのではなく、

『この物語はチャンスだ』と捉えてください。

そして、私は運がいい。

人生を変えるチャンスをは手に入れたのだ！そう宣言してください。

この先あなたがやるべきことは、

納得できない今の人生を

なぜこんな理不尽ともいえる結果になったのか

その原因を血眼になって突き止めることです。

ステップ2

「願望に情熱を宿した炎は目標達成まで消えることはない」

僕は子供のころから自由に生きることがを夢見ていました。

「サンタさんの夏休み」（日本語版のタイトル）という絵本が大好きで、

英語版は **Father Christmas** だそうです。

YouTube にアニメ版がありました。（書籍はどこを探しても出てきません???)

<https://www.youtube.com/watch?v=Jc-FI2zGsAs>

何度も何度もこの絵本を読んできました。

子供たちにプレゼントを配るために、

クリスマスは懸命に働いて

それ以外の季節は、犬や猫や庭の世話をしたり、旅に出たり

好きなことをして過ごす。

「いつかこんな暮らしができたらいいなあ」

子供ながらに憧れていました。

しかし当時の僕の現実には、退屈な学校、退屈な勉強、

社会に出て仕事をするようになってからも

何一つ変わりませんでした。

学校の代わりに職場があつて、

勉強の代わりに仕事がある。

家と職場の往復、同じ作業の繰り返し、

ある日、急に作業する手が止まりました。

目の前のベルトコンベアー、工場の窓や屋根を見て、ゾツとしたのです。

僕は狭い檻の中で飼われている発狂寸前の犬そのものだったからです。

休み時間に、車の中に駆け込んだ私は、

「こんなところ絶対に抜け出してやるうーーーーー!!!」

青空に向かい泣き叫んでいました。

このとき、僕に具体的な目標や方法は何もありません。

しかし、「絶対に抜け出してやる」という

涙し絶叫するほどの想いは、

『願望』を叶えるために必要不可欠な『情熱』を宿していました。

僕が思うに願望だけでは、

あなたが目標とする場所へは到達できないでしょう。

願望＋情熱＝信念と、ナポレオンヒル博士の「思考は現実化する」
に書いていたと記憶しています。

さらに僕は、目標の場所へ到達するためには、

願望に火傷するほど熱い情熱を注ぎ、

そこへ期限を設定する必要があると考えました。

僕は、願望＋情熱＋期限＝執念と書き換えたいと思います。

願望に情熱や期限が必要なのは、伊達酔狂ではありません。

心理学的見地や量子力学的見地からも確かな根拠があります。

例えば、高所恐怖症の人がバンジージャンプをしようとしたとき、

「なんとしてもジャンプするんだ！！」

では、多くの人が恐怖に打ち勝つことはできず、

おそらくはバンジージャンプ台の上に立つことさえできないでしょう。

しかし、これならどうでしょうか。

「幼いわが子は成功率数%の手術を受ける。手術は明日。勇気を与えるために、私は今日バンジージャンプしなければいけないんだ！！」

バンジージャンプするという願望に、

幼い子供に勇気を与えるためという情熱、

明日の手術のために今日という期限を加えると、

なにがなんでもジャンプするという執念に生まれ変わります。

願望を、情熱と期限を加えた執念に変えることができれば、

あらゆる恐怖に打ち勝ち実行に移すことができるでしょう。

願望だけで頑張ろうとする人が挫折する理由は、

願望には必ず恐怖や困難が立ちはだかるからです。

アンパンマンにはバイキンマン

ウルトラマンには怪獣

がいるようなものです。

人は恐怖や困難を前にすると、

いとも簡単に諦めてしまう自己防衛本能を持っています。

新しい道は今の自分を変えてしまう。

変化は危険だと脳の自己防衛アラームが鳴り響きます。

願望を願った以前の状態に引き戻されると言ってもいいでしょう。

願望のなかつたいつも通りの日常へ引き戻されてしまうのです。

執念の力強さは、僕の実体験からも証明できます。

僕は、20年近くたった今でも、

工場の駐車場の片隅の置いた車の中で流したあの涙を忘れたこと
はありません。

今も僕の心の真ん中であって、

沸々と燃え滾り、心が折れそうなき熱い情熱を注いでくれます。

もう一度書きますね。

この時点での願望に具体的な目標や方法はなくても構いません。

抽象的な願望であつても、まずは叫ぶことが肝心です。

あの頃の僕のように今の人生を変えたいと泣き叫ぶことです。

「あなたはどんな願望を心に宿していますか？」

少ない貯金残高に悲しくなる？

収入をもっと増やしたい？

生きるために手に職を付けたい？

あなたに太ったと言った彼氏を見返したい？

あなたを馬鹿にした上司を見返したい？

高級車を見て悔しくて情けなくなつた？

幸せそうな家族が羨ましい？

自分の心に問うてください。

人生を変えるための儀式ですから、

目を瞑り、胸に手をおいて、真剣にやってください。

「あなたはなぜ人生を変えたいのですか？」

ステップ3

「大好きなことの中に歩むべき得意な道が隠されている」

前回のステップで、

最初は具体的な願望でなくても構いませんと書きました。

矛盾しているようですが、いつまでも抽象的な願望では、

何を叶えればいいのかあなた自身も迷ってしまうでしょう。

願望を現実の世界に具現化させるには、

願望をできる限り具体的にしていく必要があります。

ここで迷い悩む人がいます。

「人生を変えたいとは思うけど、具体的な願望と言われても・・・」

心配しないでください。僕も同じでした。

19歳だったあの頃、「絶対に抜け出すんだ！」と泣き叫んだとはいえ、

どこへ向かえばいいのか全くわかりませんでした。

そこで僕はこう考えました。

工場と家を往復する大嫌いな今だから上手くないかない。

それなら、

工場と家を往復しなくて済む大好きな今にしてしまえば上手くないくんじゃないか

と、好きなことだけに集中することにしました。

僕の場合は、本が大好きだったので、ひたすら本を読むことにしました。

大好きな読書の中に歩むべき得意な道が隠されている。

そう直感したのです。

サッカー―元日本代表の中田英寿さんの言葉を集めた

『中田語録』を読んでいた時のことです。

「試合前に集中するために、

難しい税理士資格の試験問題を解いたりする。」

と凡人の僕にはすぐには理解し難い一文が書かれていたのです。

理解はできないけれども、

尊敬し憧れの中田英寿さんのやることだから間違いない。

そう確信し、『僕にもできると思い込む』ことにしました。

しかし、税理士は数字を扱う仕事だから、

数字の苦手な僕には向いていない。

そう判断しました。

好きな人の言うことをそのまま真似するのではなく、

好きな人の言葉の中に、自分の得意なことを探しました。

つまり中田英寿さんと同じ資格ではなく、

自分でもできそうな得意な資格を探すことにしたのです。

まさに大好きな中田英寿さんの言葉の中から

得意なことを探し出したのです。

「登記を代書する書く仕事」

と書かれたパンフレットを見て、

読み書きが得意だった僕は「これだ！」と思いました。

（これは後に仕事内容を正しく理解していなかった僕の勘違いだと気付かされることになります）

司法書士が難関の国家資格だということまでは知りませんでした
が、

とにかくやってみようと心に誓ったのです。

そこには、尊敬して憧れている中田英寿さんに少しでも近づきたい

という熱い情熱もありました。

ステップ4

「夢を叶える強力な思い込む力はマイナスにも働く」

司法書士試験を目指すと決めた僕は、

その日に司法書士試験のパンフレットを取り寄せました。

工場に備え付けの食堂で試験のパンフレットを見ていると、
職場の先輩から声をかけられました。

「え……？ 国家試験で。司法書士、、中島君、現実みや」
そう言って先輩は私の作業服を指差したのです。

悔しかった。

でも、突き付けられた目の前の現実

ひと言も言い返せませんでした。

僕は、合格という願望に見返してやるという情熱を注ぎました。

資格試験学校の費用は高額でしたから、親に頭を下げました。

夜間の資格試験学校の費用を出してもらい

仕事と学校に通う日々が始まりました。

テキストや問題集を手渡されて、

表紙を開いたときの衝撃は今でも忘れられません。

アメリカのコメディ映画に出てくる俳優みたいに

思わず頭を抱えてしまったからです。

問題を解くどころか、

テキストや問題集に書かれている漢字が読めないのです。

「まずい・・・」と一瞬思いましたが、

すぐに頭を抱えた手を机の上におろし

「やるしかない」と呟いて思考を切り替えました。

今のように Amazon などネット通販は主流ではありませんでしたから、

小学生向きの漢字の書き取りドリルを店頭で買いました。

20歳の春にそんな経験をした人はそう多くはないでしょう。

僕は高校の授業にほとんど出席せず、

バイクを乗り回していたような人間です。

つまり、実質中卒の学力と言えます。

法律関係の書籍に書いてあるような難しい漢字が読めるはずもありません。

「頑張らなければいけない時間をサボれば、

後から自分に返ってくる。」

手痛い人生の教訓を学んだ瞬間でもありました。

1日10時間を超える猛勉強をほぼ毎日くり返しました。

何度心が折れそうになったことか。

その度に、願望に情熱が注がれ、執念が体を突き動かすのです。

学のない僕は、それぐらいしてちようどいいと考えていました。

何しろ周囲にいるのは有名大学の法学部の人間たちばかり、

とてもまともな方法では勝てないと感じたからです。

1年目は、試験の雰囲気味わうための捨て受験でした。

もちろん、当然のように不合格です。

しかし、不合格になんのショックも受けず、

「いつか受かるだろう」と前向きに考えていました。

2年目も落ち、今年こそ本番と意気込んだ3年目の試験にも失敗したとき、

「これはまずいのでは……」

と否定的な考えが思考の中に浮かんできたのです。

振り返ると、たしかに試験には落ちていましたが、

実は年々点数は上がっていたのです。

3年目の成績を考えると、

4年目に試験に受かる確率はかなり高かったと思います。

模擬試験でもB判定が多くなり、

4年目の受験前はA判定も多くなっていました。

ですが、4年目も、5年目も、6年目も、

ついには一度も司法書士試験に受かりませんでした。

「あれ、思い込み力じや願望は実現しないじやないか!？」
と読者の方は思われたかもしれませぬね。

いえいえ、このときも思い込み力は発動していたのです。

3年目の試験に落ちたとき、

僕の頭にこんな言葉が浮かんでいましたよね。

「これはまずいのでは」

それに続く言葉は、

「もしかしたら、このまま一生受からないかもしれない……」

僕は、「試験に一生受からない」

という思い込み力を発揮していたのです。

否定的な言葉が頭をよぎった瞬間、

地上に這い出そうとしていた合格の芽は、

這い出すことを止め、地中深くに押し戻されてしまいました。

まさに「一生受からない」という強い願いが叶ったのです。

さらに、願望を叶えるために必要な

あることを設定し忘れていました。

気付いた方もおられるかもしれませぬね。

そうです。

試験に合格するための『期限』を設定していませんでした。

試験に合格するという願望に、

絶対に負けられない情熱はありましたが、

そこに期限というスパイスがなかった。

これは執念ではなく、祈念に過ぎず、

ただ願っただけの祈念では、

大きな願望を達成できるはずもなかったのです。

ステップ5

「夢や目標や願望はすでに実現していると思いつくこと」

ステップ1〜4までを読んでもくれた読者の皆さんへ、

まずはお礼を述べさせていただきます。

本当にありがとうございます。

ステップ5まで辿り着いたあなたなら、

もうかなり願望を叶える『思い込み力』

を信じてくれていることでしよう。

でなければ、ここまで読み進めることはなかったはずで

でも、それでも、あなたは半信半疑、まだ疑っている。

ということも僕にはよくわかります。

「思い込めば何でも夢が実現するだって？」

「すごいとは思うけど、そんなこと馬鹿げてるじゃないか」

「中島はきつと頭がおかしい」

「現にお前、試験に失敗してるじゃないか」

手厳しいご意見やご感想もあるでしょう。

しかし、あなたはこうも思っているはず。

とはいえ、おそらく中島は私よりもずっと自由な人生を生きている。

決められた時間に会社に行く必要はないだろうし、

満員電車で揺られる必要もない。

平日の昼間スタバやどこかのカフェで仕事をしていて、

ガラガラの映画館で最新作の映画をゆっくり観ることもできるだろう。

ついこの前まで半年間、海外に移住してたとも聞いたし、

タイ、アメリカ、中国、シンガポール、インドネシア、マレーシア、台湾、ドバイ、ケニア、モルデイブ、フィリピンやカタール、エジプトでピラミッドも観てきたそうだ。

極端な話、明日から海外に1カ月行くこともできる・・・。

という事実を無視するわけにもいかない。

思い込み力の効果について疑惑はあるけど、
完全に無視もできない。

そんなところでしょうか。

そんな皆さんの疑惑を払しよくするため

この物語を読んで良かったと

心の底から思ってもらえるような

思い込み力を発揮させる最も重要なスキルをお伝えします。

これははつきり言って、

恐ろしく効果的で、誰にでも簡単に使える

夢を叶えるための魔法のスキルです。

だって、このスキルを使いこなせば、

ほとんどすべての願望や夢はあっという間に叶ってしまいうからで

す。

僕の回想、冒頭に戻ります。

司法書士試験に6回も落ちた私は、失意のどん底にいました。

そりゃあそうです。

19歳で中田英寿さんの中田語録を読み、

20歳から始めた国家試験合格への道。

国家資格を取ると覚悟して挑んだ試験です。

仕事で疲れたふらふらの体に鞭を打ち、

這うように夜間学校に通い、

1日10時間を超える猛勉強を重ねた。

その結果は・・・

6年間試験に落ち続けた、

無職の27歳男の出来上がりです。

もちろんもつと悲惨な方は世の中にたくさんおられるでしょう。

しかし当時の僕にとっては、

実家暮らしで家族に合わせる顔がなく、家には帰り辛かったし、親にも申し訳なかった。

正月に兄弟や親せきが集まる日が何よりも精神的な苦痛でした。

正月前に「消えようかな、死んで存在がなくなっただろうがいいんじゃない」と思ったことも何度かあります。

精神的にそこまで追い込まれていたのです。

さて、ここからが思い込み力を発揮させるスキル、

その重要なポイントの話になります。

精神的に追い込まれ、

お金、人脈、コネ、何一つないかと思われた僕にも、

残された武器がありました。

それはどんな方も絶対に持っている武器です。

『時間』です。

どれだけ貧乏でも失敗した人でも、

どれだけ裕福な人、偉い人、知名度がある人
どんな人にも一日は24時間です。

時間とは平等で自由に使える無料の武器です。

お金のないどん底にいた僕は暇でしたから、
自由に使える時間がたくさんありました。

暇をつぶそうと本屋さんに出掛けた日のことです。

そこで偶然出会ったのが、

行政書士を主人公にした漫画「カバチタレ」でした。

読み終えて僕は「これだ！」と思いました。

そこで主人公の田村君に自らを投影し、

すでに僕は行政書士として活躍している場面を想像したのです。

強力な思い込み力を発揮した瞬間でした。

今がどうであるかは何の関係もありません。

仕事が無かろうと、貯金が無かろうと、

たとえホームレスであつても

大富豪になつた自分を願望することはできます。

ただし、「何となくいつかになりたいな」では、

いつになつても願望が実現することはないでしょう。

僕の場合、漫画を読んでいる段階で、

すでに行政書士として活躍する自分を強烈にイメージしてしま
した。

自分は行政書士の資格を持っていて、

実際の現場で顧客とやり取りしたり、

役所を走り回ってる姿を想像したのです。

その手助けをしてくれたのが、

漫画の中の主人公、行政書士見習いの田村君でした。

僕は田村君を私そのものだと思い込み、

意識を漫画の中に刷り込ませていきました。

汗が出るシーンでは、実際に汗を出し、

嬉しいシーンでは、実際に声を出して喜ぶ。

傍から見れば、気持ちの悪い客だったでしょう。

本屋さんで漫画を手にした30手前の男が、

困ったり、笑ったり、叫んだりしてるわけですから。

ですが、この時とった行動こそ、

願望を実現するために最も重要な、

「願望はすでに実現していると思いつくこと」を実践していたので
す。

なぜすでに実現していると思ひ込む必要があるのかと言えは、

あなたが願望を抱いたとしても、

脳にはそこへたどり着くためのイメージがありません。

イメージもないのに、現実の世界に願望を具現化させることは絶対にできません。

脳に願ひが叶っている自分をはつきりと具体的に想像させる。

それは、道順のないゴール地点だけ描かれた地図を
脳に手渡してあげる行為に似ています。

ポイントはここです。

『道順のないゴール地点だけ描かれた地図』
脳にとって道順は不要です。

具体的な目的地さえわかればなんとかして目的地に辿り着こうとするのです。

そこへたどり着くために必要な道順や行動は、

目的地が導いてくれます。

ほとんどの人がここを理解できないのは、

ゴール設定して、自然とゴールへたどり着いた体感がないからです。

だから理解できなくても大丈夫です。

受け入れてください。

自分を、人生変えるために、

信じられない、受け入れがたい事実を受け入れてください。

あなたは脳に目的地をイメージさせる。

脳は自然から道順と行動の仕方を受け取る。

大きな流れに身を委ねるだけでいいのです。

理解し辛い人には、すこし強引ですが、

ナビに目的地を入力すれば、あとの道順は教えてくれますよね。

そうイメージしておいてください。

ナビに目的地を伝えて、悩んだり、立ち止まったりするのは時間の無駄です。

もし迷ったり立ち止まりそうになったら、

そんな考えは時間の無駄ですので、すべて無視しましょう。

何か大きな目標を立てたとき、否定的な多くの意見は、

パートナー、家族、友人、知人、同僚からの意見ではないですか？

今なら facebook や twitter といった SNS も

否定的なネガティブ思考に加担しています。

否定的な意見は、あなたを心配しての意見ではなく、

自分たちと違う世界へ行こうとしているあなたを

自分たちの世界に留めておこうと必死なだけの

根拠のないわがままな意見です。

「私も人生を変えたい。(あるいは、変えたくない)でも、そっちな世界へ行く勇氣はない。

あなただけ人生を変えるなんて許せない。私たちを置き去りにする

な。

ここに留まっている！」

ともものすごい力であなたを元の場所に引き戻そうとします。

これが身内を含めた他人の意見の正体です。

身内を含めた他人の否定的な意見や

マスコミやインターネット上から入ってくる情報のほとんどすべては、

あなたの夢や願望を邪魔する雑音ですから、

無視して心の声（直感）に従うべきです。

ちなみに僕は結婚してからテレビを観ることをやめました。

徹底するために自宅にはテレビを置いていません。

テレビによって時間を奪われること、否定的な情報で洗脳されること。

そして、前向きな考えができなくなるのが怖かったからです。

テレビを観なくなった結果、本を読んだり自己投資する時間、

常に前向きな思考をする習慣（くせ）が身につきました。

多少脱線しましたが、「私は絶対にそこへ辿り着ける」と信じて

脳という偉大なナビに身を委ねるだけで大丈夫

その理由をわかっていただけたはずです。

僕は、行政書士試験に合格するという願望に、

もうこれが最後、必死のパッチで死に物狂いでやるしかないという
情熱と、

この試験は1回きりの挑戦という期限を加えました。

さて、皆さんが知りたい

思込み力を発揮した結果は・・・。

願望に情熱と期限を加えた執念の結果は、

わずか半年の勉強で行政書士試験に一発合格する

という驚くべきものでした。

しかも午前中は株取引（デイトレーダー）をしていましたから、

実質、午後に数時間の勉強をしただけです。

ちなみに当時の行政書士試験の合格率は2〜4%前後でした。

難関と言われる国家試験に

こんなにも簡単に合格できたカラクリは他にもあります。

じつを言えば、僕の願望は試験に受かることではなく、

資格を使い実際の現場で活躍する事でした。

そして、思い込み力によってその具体的なイメージは出来上がって
いました。

合格することなど、

目的地へのジャンクション（過程）に過ぎず、

現場で活躍するという願望にとっては、

試験合格など些細な願望だったから

いともたやすく合格したのです。

ステップ6

「思い込み力を使いこなすとほとんどの願いは叶えられる」

ある知人から「10回受験しても合格したことない友達がいるのにすごいね」

と言われたとき、

頭の悪い私にもさすがにこの力のすさまじさを

無視するわけにはいなくなっていました。

思い出してください。

僕は高校にはほとんど通っていません。つまり、学力は中卒レベル。

法律の書かれた難しい教科書を読むことすらできずに、

漢字のドリルを本屋さんに行きに行つたほどの頭脳です。

そんな男が合格率3%前後の国家試験にまぐれでは受かりません。

わずか半年で、いともたやすく合格した事実を偶然で片付けますか？

しかし、思い込み力のパワーの凄まじさを語る上で、

これは序章に過ぎません。

僕の思い込み力はここからさらに加速し始めたのです。

何度も言いますが、僕は普通の人間です。

どちらかと言えば落ちこぼれです。

たぶん、このメルマガを読んでいる読者さんより

ずっと学力や知識や知能も劣っているでしょう。

唯一優れているというか、

違ったのは考え方です。

『思い込み力を誰よりも信じた』ことです。

信じぬくことで、この力を使えるようになりました。

奇跡ともいえるような

僕の、あなたの想像を超える現実があつという間に起きています。

僕は試験に合格したとき、もつと自分を信じることにしました。

自分には優れた才能はないけれど、

夢を実現できる素晴らしい思い込み力がある。

そして、これは誰にでも使える力だと。

とはいえ、当時の僕はまだまだ未熟で、思い込み力を疑っていました。

「それでも、まだ、完全に信じることはできない……」

このメルマガを読んでいるあなたに毛が生えた程度の思い込み力
です。

完全に信じ切ることができない。

ということは、思い込み力を使えるようになったけれど、

完全に使いこなせてはいなかったということです。

やはり否定的な考えが頭をよぎることもありました。

「これは偶然かもしれない。仕事を取るのは大変なはずだ。知人の経営者仲間だって苦勞して苦勞してやっと仕事が取れたと言っていた。試験に合格したからといってそんなに上手くいくわけがない。もしかしたら1件も仕事が取れないかもしれない」

試験合格後、すぐに事務所を開業しましたが、

否定的な考えも頭を過ることがありました。

否定的なことを思い込んだ結果、

思い込み力の強烈なパワーがまたしても発動しました。

仕事がまったく取れず、

僅かな貯金も底をつきそうになっていったのです。

しかし、僕は本屋でカバチタレを見つけたあのころと同じように、好きなものの中にチャンスが隠されていると信じて、

またしてもあの本屋に向かうことにしました。

欲しい本があったとか、目的があつてきたわけではありません。

大好きな本に囲まれていれば、

チャンスに巡り合えると思ひ込んでいたのです。

そして、思い込み力は運命の本を引き寄せました。

白い背景に「代筆屋」と黒い太字で書かれた小説です。

今も僕の書斎の片隅に大切に置かれています。

この本を読んで、代筆屋という手紙を代筆する人物を知り、

「代筆屋になる！」と決意しました。

これもまた呆れるほどの速さでした。

代筆屋になろうではなく、

代筆屋になると思い込み力を発動させたのです。

小説「代筆屋」の主人公に自分を重ね、

あたかも代筆屋として活躍している姿を想像しました。

また、本屋の中で思い込み力は発動していました。

(〇〇書房さん、本当にお世話になりました)

小説代筆屋を購入して、

帰宅したその日にホームページビルダーを購入して、

代筆屋というホームページ作りを始めました。

パソコンもホームページ作りも素人の当時の僕です。

あーでもない、こーでもないと試行錯誤を重ねて、

数カ月後、太い黒字で代筆屋という大きなタイトルの書かれた

背景の白いシンプルなホームページを作りました。

そうです、小説代筆屋の表紙を真似たホームページです。

「そんなホームページから、まして代筆なんて仕事はこない」

周囲の人は否定的な言葉を浴びせてきました。

「代筆屋です」と名刺を渡した僕を鼻で笑った経営者もいました。

しかし僕は周囲の否定的な意見はすべて雑音で、

それらを見捨てるのが願望達成への近道だと理解していました。

それどころか、

「絶対にお客さんがたくさんくる！」

またもや思い込み力を発動させることにしたのです。

PC画面に映るホームページを睨みながら、

携帯を片手に念じました。

ホームページをアップして1週間ぐらい経ったところでしようか・・・。

携帯電話に見慣れない番号が表示されました。

恐る恐る電話に出ると

「代筆屋さん、ですか？」

小さな声、すこし震えた若い女性の声が聞こえました。

はじめての代筆の依頼でした。

彼女の震える声と携帯を持つ僕の震える手が重なった奇跡を

死ぬ瞬間まで忘れることはないでしょう。

「絶対にお客さんがたくさんくる！」

という思い込み力は、確かに発動していたのです。

それ以来、代筆屋の依頼がどんどん入ってくるようになりました。

引き寄せられるように、行政書士の依頼まで多くなったのは

決して偶然ではありません。

僕は代筆屋だけに限らず

「お客さんがたくさんくる」という思い込み力を発動させていたからです。

仕事がなくって暇で仕方なかった数か月前が嘘のように、

仕事があり過ぎて、依頼を断らなくてはいけない状態になっていました。

そして、調子に乗った僕は、

テレビに出る！新聞や雑誌に掲載される！

本を出版するんだ！

という思い込み力を発動させることにしたのです。

「代筆屋なんかで仕事はこない」

と笑われたときと同じように、

「さすがにそれは無理やろう」

「そろそろ現実を見て大人になったほうがいいんじゃない」

そんな言葉もたくさん耳にしました。

またも僕はそれらの意見をすべて無視しました。

もう疑うことなく、

思い込み力の想像を絶するパワーを信じ切っていたからです。

さて、みなさんが知りたいのは〃結果〃ですよ。

ご存知の方もおられるかもしれませんが、

関西テレビのよーいドン、全国放送である先輩ロックユーで

代筆屋は大々的にテレビ放送されました。

放送後の反響が凄まじく、てんやわんやしたのは懐かしい思い出です。

新聞は、地方の赤旗や城南新報、関西の京都新聞、全国の朝日新聞、

雑誌は、ABRA、LEE、プレジデントウーマン、日経ビジネスアツシエ、

といった名だたる一流雑誌に掲載されています。

しかもAFRAでは、ジブリの鈴木敏夫さんと同じページに

『伝える達人』として紹介されたのは光栄でしたし、本当に恐縮でした。

そして、幼いころからの夢だった書籍の出版も

「出版する！」と思い込み力を発動してから

1年足らずで電子書籍を出版し、それがベストセラーになり、

「紙の書籍を出版しませんか？」

と出版社から声がかかりました。

すべては思い込み力を使いこなせるようになった自然な結果です。

ステップ7

「夢を叶える思い込み力は行動することで真価を発揮する」

ついに最後のステップになります。

よくぞここまで読んでくれました。

もう一度感謝のお礼を言わせてください。

ありがとうございます。

年間300冊の本を読む、

ブックホーリック（本中毒、本依存症）の僕は

本を読む時間や労力を痛いほど知っています。

だから、ここまで読んでくれた皆さんには、

書き手として本当に感謝しています。

ここまで読んでくださった方は、

間違いなく人生を変える素質や才能の持ち主です。

選ばれた存在です。

その言葉にも根拠があります。

ほとんどの人がここまで辛抱強く本を読みません。

100人に1人いればいいほうです。

借りに読み始めたとしても、

「もうわかった」「そんなの知ってる」と途中で理解した気になるか、

「自分には関係ない」とすぐに読むことをやめるでしょう。

そして、3日後にまた同じような本を購読し、

また「もうわかった」「そんなの知ってる」「自分には関係ない」と
言って、

永遠に同じような本やセミナー受講の自分探しの無限ループを続

けてしまうのです。

まだ実感はできないかもしれませんが、

ここまでたどり着いたあなたの願望を叶える

『思い込み力は発動』しています。

僕は思い込み力のお蔭で、

行政書士という難関の国家試験に一発合格できました。

小説の主人公だった代筆屋を職業にして、テレビ、新聞、雑誌に掲載され、

幼いころからの夢だった書籍の出版も実現しました。

これは疑う余地のない驚くべき力です。

願望＋情熱＋期限＝執念を伴った思い込み力は、

あつという間に人生を変えます。

あまりの変わりように最初は戸惑うかもしれませんが。

僕の5年前と今の自分は、まるで別人です。

あの頃付き合っていた人たちは、

正面から今の僕を見てもおそらく中島だと気付けないでしょう。

人格だけでなく、人相もまるで変ってしまったからです

先日も、平日の昼間に0歳の娘を抱っこしながら、

ペイパルで何十万円の入金をいくつも確認していました。

「これは夢ではないか」

と娘の顔に笑いかけました。

ただし、思い込み力が真価を発揮するには、

絶対に『あること』をしなければいけません。

あることというのには、じつはここまで何度も書いています。

勘の良い人ならもうお気づきですよ。

そう、思い込んだら行動に移す。

『行動力』です。

思い込み力を現実に導くのは、

思い込んだ瞬間に行動することです。

「どう行動すればいいんだ？」

という質問自体ナンセンスです。

どうといった方法は何だっていいのです。

方法は気にせずに、

思いついたことをとにかく実行に移すのです。

作家になりたいのなら、物語を考案しキーボードを叩き始めることです。

美容師になりたいのならはさみ鋏を買って髪を切るべきです。

パティシエなら生地や材料を買ってケーキを作るべきです。

とにかく行動することです。

思い込み力を発動させるために、集中してほしい最も大切なことは、願望が現実になると信じ切ることです。

その後の願望を実現する方法は何だっていいのです。

自然、神、宇宙、何でもいいでしょう。

とにかく大きな流れに身を委ねることが大切です。

その道が正しいかどうか不安になることもあるでしょう。

とっておきの対処法は、

その道を歩んでいる自分の感情をチエツクしてみることです。

チエツク方法は、

「気持ちいい？」か「気持ち悪い？」

の2択です。

気持ちいいと感じる方向に身を委ねていれば、

その方向は間違っていない。安心してください、大丈夫です。

川上から川下へ、川の流れにのる笹船のように、

大きな流れに身を委ねましょう。

スピリチュアルな人は

「宇宙に委ねる」といった表現をすることがありますが、

どう表現しようか結果は同じですから、

『大丈夫。私が心地良いと感じる大きな流れに身を委ねているなら大丈夫』

という言葉を忘れないでください。

さて、真面目で頑張り屋さんのあなたなら、

きつとステップ1〜ステップ7を真剣に読まれたことでしょう。

できれば何度も読み返してください。

一度で理解できる人はそうそういません。

理解できたと勘違いすることは最も危険ですから、

最低でも3度は読み返してください。

この本に限らず、本、オーディオ、動画、映画など、

何かしらの情報を仕入れた人間は、そこから3つのタイプに振り分

けられます。

1. 本当かもしれない、と思ったけど何もしない人。
2. 嘘やまやかしたと批判することで変化を恐れる自分を守ろうとする人。
3. これは本物だと思い込んで、今すぐに実践する人。

どのタイプの人か、

人生を変えて自由な人生を手に行ける可能性が高いでしょうか？

答えるまでもありませんね。

新しい情報や知識を素直に思い込み、

今すぐに実践できるなら、

仕事も家庭も人生も趣味も友人関係も健康も

あらゆる豊かな富が

何もかもすべて思い通りに手に入るでしょう。

「ザ・シークレットという映画をご存知でしょうか？」

僕はあるオーディオを聴いていました。

ゲストに呼ばれていた作家で経営者でもある

ジョー・ビターレという人物が気になり、

徹底的に調べていたところ、

彼が出演しているというこの映画に辿り着きました。

興味のある方はぜひ YouTube をご覧ください（削除されていたら
ごめんなさい）

【ザ・シークレット映画】

←
←

<https://www.youtube.com/watch?v=qgFGut94IQM&t=3173s>

より理解を深めるには書籍もお勧めです。

【ザ・シークレット書籍】

←
←

<http://ur0.work/HCQA>

単なる自己啓発を超えた内容であり、

心理学や量子力学の専門家が、

学術的観点からシークレットの根幹である

引き寄せの法則をわかりやすく解説してくれます。

引き寄せの法則を実践する、とはつまり、

人が本来持っている驚くべき脳力を

呼び起こすということなのでしよう。

僕はそう理解しました。

「私は、乳癌だと診断されました」

映画に出てくる登場人物の女性の告白に聞き入っていました。

しかし女性は、

「癌は治った。ありがとう」

と毎日思い込むことを実践し、

なるべく面白い映画やドラマを観て笑う生活を続けたそうです。

放射線治療や化学療法は一切せずに、

癌と診断された3カ月後に、癌細胞は消滅していたというのです。

不思議ですか？信じられませんか？

僕には不思議でもなんでもありません。

「すでに治っている」と強烈な思い込み力があれば、

癌細胞ぐらい消滅するでしょう。

人は思い込みだけで、胃に穴を開けて血を吐くこともあれば、髪の毛が抜けたりもするのです。

また、思い込むだけで、胃に空いた穴を修復したり、再び髪の毛を生やす力もあるのです。

こんなに素晴らしいパワーは他にありません。

人生をより良くすることに使わない手はないでしょう。

思い込み力で人生を変えた人間の一人として、

僕は自分を振り返ったように書いたこの物語を通して

思い込み力の素晴らしさを伝えようとしています。

一人でも多くの人に思い込み力の持つ底知れないパワーを知って
もらい、

思い込み力を実践することで、より豊かで自由な人生を歩んでもらいたいと

心の底から思っています。

当初、電子書籍で儲けを出そうかとも思いましたが、

こんなに素晴らしい力を金儲けだけに使うなんてくだらないと気が付きました。

だから、人生を変えるきっかけになる大切な言葉と方法を

Amazon 上最安の価格で提供しています。

そして、ここからは重要です。

この物語をここまで読んできて何を感じたか？です。

あなたがこれまで読んできた7ステップから何を感じ、

自分の人生にどう役立てていくか、です。

あなたにとって「夢を叶える魔法の7ステップ」が

人生を変えるきっかけになったとしたら、

思い込み力を伝えたい書き手の私としては、

これほどの喜びはありません。

あなたの人生を変えるためだけに書いてきたのですから。

思い込み力を実践して、

こんなうれしい結果やこんなに驚くべき成果が出た

という人はぜひメールをください。

一人でも多くの人生を変えた声を聞かせてください。

僕にとっての励みになり、

あなたの思い込み力を必要としてる人にとって

人生を変えるきっかけになるでしょう。

「それでも、私には一歩踏み出すための勇気がない・・・」

残念ながら、そういった相談を受けることは少なくありません。

勇気は自身の心の中から絞り出す以外に方法はありません。

しかし、あなたの気持ちが変わらなくてもいい。

僕はあなたにぴったりの特別ボーナスを贈ります。

ステップ 8

「勇気を奮い立たせる方法」

驚かないでくださいね。

勇気を奮い立たせる方法は、

「エイツ！ヤツ！！」

です。

書き間違いではありません。

エイッ！ヤッ！！

です。

新しいことに挑戦するのが怖いのはなぜかわかりますか？

やった経験がないからです。

暗闇は見えないから怖いだけです。

不気味な洞窟は、電気をつけてしまえば、ただの岩の塊です。

女性の幽霊は、ライトで照らすとただの白い布切れです。

「エイツ！ヤツ！！」

と暗闇に一步踏み込んで、明かりを灯してしまえば、

一瞬で見えない恐怖は、見える安心になります。

行動した結果としての、成功とか失敗は関係ありません。

行動して経験した数が増えれば増えるだけ、

恐怖は少なくなります。

「そのエイツ！ヤツ！！ができないから困ってるんだってえ！」

とあなたと僕の禅問答みたいな繰り返しをしても仕方ないので、

エイツ！ヤツ！！するための具体的な良い方法を教えます。

1. 暗闇の中100匹以上の野犬に囲まれてみる。
2. 100万円分の馬券を買ってみる。
3. バンジージャンプに挑戦してみる。

4. スカイダイビングに挑戦してみる。
5. 山に登ってみる（日本一の富士山、世界一のエベレスト）
6. エジプトのピラミッドの中で瞑想してみる。
7. ケニアで野生のライオンからマサイの戦士に身を守ってもらおう。
8. 知人のいない海外へ一人で語学留学してみる。
9. バリ島にいるアニキに会いに行ってみる。

10. マニラにいる富豪に会いに行ってみる。
11. ホストやキャバクラに1000万使ってみる。
12. 銃撃戦の中、スーパーへ買い物へ行ってみる。
13. 家族で海外に移住してみる。
14. 詐欺師にお金をむしり取られてみる。

15. おかまバーに行ってみる。

16. 知らない女性（男性）に声をかけてみる。（いわゆるナンパです
ね）

17. メール執筆者中島の100万円近いコーチングを受けてみる。

どうです？

すべて挑戦するのは難しくても、

一つぐらいならなんとかできそうじゃないですか？

ちなみにここに書いた方法のほとんどすべては

執筆者中島が実際に経験したことです。

結果として今の僕に、怖いものなんてほとんど（奥さん以外（笑））ありません。

海外の慣れない道で、しかも暗闇の中、

今にも飛びかかってきそうな野犬数100匹に絡まれる

そんな状況を想像してみてください。

個人的には、銃を突きつけられるより恐怖を感じました。

人生観変わりますよ。

（あ、書き忘れた経験として、銃を撃つたことも、銃を突き付けられたこともあります。もちろん海外です。）

僕が3歳の息子に日ごろから繰り返して伝えている言葉があります。

心に『愛と情熱』を

お腹に『夢と希望』を

この言葉は息子が気に入って保育園で先生に話しているそうです。

僕から息子に伝わった言葉は

息子から保育園の先生に伝えられました。

いずれ他の園児たちにもこの言葉が伝わるでしょう。

園児たちから親へ伝わっていけば、

親からどんどん世間に伝わっていきます。

前向きな言葉を発しただけでも、

僕を起点に世の中は変わります。

あなたにも同じことができます。

僕は夢を叶えるためには思い込み力が必要で、

その方法を伝えることがこの世に生まれた使命だと直感した直後に、

この物語を書き始めました。

仕事を止めてまでこの物語を書いているのは、

この物語を必要としている人が、星の数ほどいることに気付いたからです。

夢を叶えたい、人生を変えたい、何か手に職をと

意気込んだにも関わらず、

インターネット商材に振り回されて疲弊している人もたくさんい

ます。

そういった人を一人でも救いたい。そんな想いもあります。

情報を操作している一部の人間だけが稼げる

そんな社会は面白くない。

富を得るとは、搾取ではなく、

共に分かち合うことだと僕は考えています。

何度も繰り返しますが、現在の人生はあなたが望んだ人生です。

あなたが想像し、現実には創造した人生です。

だから、もし今の人生が思い通りでない、辛い、悲惨、だとしても、

これまで生きてきた自分に感謝してください。

何はともあれ生きていますのですから、

今の人生に感謝してください。

今に感謝できれば、今以上のものが手に入ります。

あなたも思い込み力を発動させ、

夢を叶える自由な人生をつかんでください。

著者紹介

代筆屋 中島泰成（なかじま やすなり）

京都府生まれ。代筆屋、行政書士。1998年、高校卒業後、死に場所を求めアメリカ・ロサンゼルスへ留学。現地で銃社会アメリカの洗礼を受け、生に目覚める。帰国後、書店で漫画「カバチタレ」を読み行政書士となる。さらに1年後、同じ書店で小説「代筆屋」に出会い代筆屋となる。代筆屋を始めたことで、テレビ出演、新聞や雑誌に多数掲載されることになった。

現在、「告白」「復縁」「お礼」「謝罪」「遺言書」まで、文章に悩む人の相談を受けている。悩みを抱える人、人生の岐路に立つ人、伝えたい想いを形にできない人のために、書くことで人生を変える活動

を続けている。また、書いて生きる代筆屋になりたい人のために、代筆屋を養成するライフコーチング（代筆屋養成講座）を行っている。

著書に

『プロの代筆屋による心を動かす魔法の文章術―電子書籍版―』

『プロの代筆屋による心を動かす魔法の文章術―増補改訂による紙の書籍版―』

『代筆屋の手紙―実際の案件を元にした小説―』

代筆屋ホームページ

<http://www.daihituya.com/>

夢を叶える魔法の7ステップ

発行日 平成30年2月22日

著者 中島泰成

発行 Nakajima Office

(本の内容に関するお問い合わせ先)

info@daihituya.com

発売 中島企画

企画・編集 中島泰成（代筆屋）

表紙デザイン 中島泰成

制作 夢を叶える魔法の7ステップ制作委員会

※本書の無断転載、複製、翻訳等を禁じます。

Copyright©2016 Yasunari Nakajima All rights reserved.